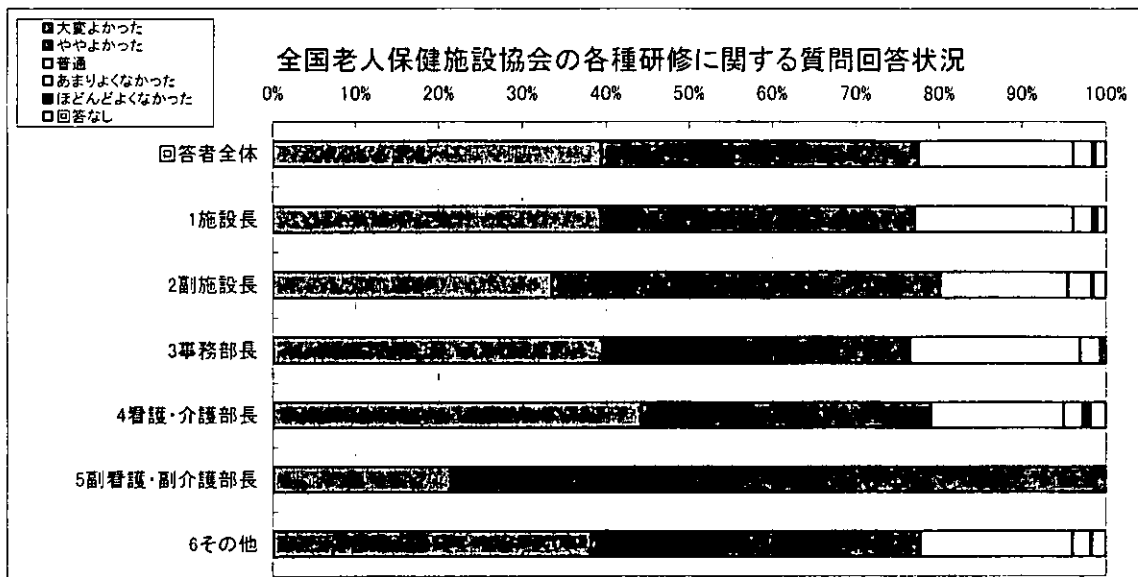


## ②回答者役職別 回答状況の分析



2)①入所床別 回答件数(設問6 各種研修に関する質問)

質問区分	入所床	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
全体	回答者全体	4,568	4,428	484	9,480
	1床～50床	418	502	40	960
	51床～75床	548	615	57	1,220
	76床～100床	3,052	2,902	346	6,300
	101床～	538	396	36	970
	回答なし	12	13	5	30

質問区分	入所床	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
1 職員基礎研修	回答者全体	692	225	31	948
	1床～50床	67	28	1	96
	51床～75床	86	32	4	122
	76床～100床	462	143	25	630
	101床～	76	20	1	97
	回答なし	1	2	0	3

質問区分	入所床	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
2 実地研修	回答者全体	570	340	38	948
	1床～50床	54	41	1	96
	51床～75床	73	45	4	122
	76床～100床	380	221	29	630
	101床～	62	31	4	97
	回答なし	1	2	0	3

質問区分	入所床	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
3 管理者(職)研修	回答者全体	470	433	45	948
	1床～50床	39	53	4	96
	51床～75床	58	60	4	122
	76床～100床	315	281	34	630
	101床～	57	38	2	97
	回答なし	1	1	1	3

質問区分	入所床	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
4 中堅職員研修	回答者全体	442	454	52	948
	1床～50床	39	54	3	96
	51床～75床	53	63	6	122
	76床～100床	292	301	37	630
	101床～	58	34	5	97
	回答なし	0	2	1	3

質問区分	入所床	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
5 包括的自立支援プログラム施設内指導者研修	回答者全体	450	451	47	948
	1床～50床	43	50	3	96
	51床～75床	60	56	6	122
	76床～100床	297	299	34	630
	101床～	48	45	4	97
	回答なし	2	1	0	3

質問区分	入所床	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
6 リハビリテーション 研修	回答者全体	486	411	51	948
	1床～50床	47	44	5	96
	51床～75床	56	59	7	122
	76床～100床	319	276	35	630
	101床～	63	31	3	97
	回答なし	1	1	1	3

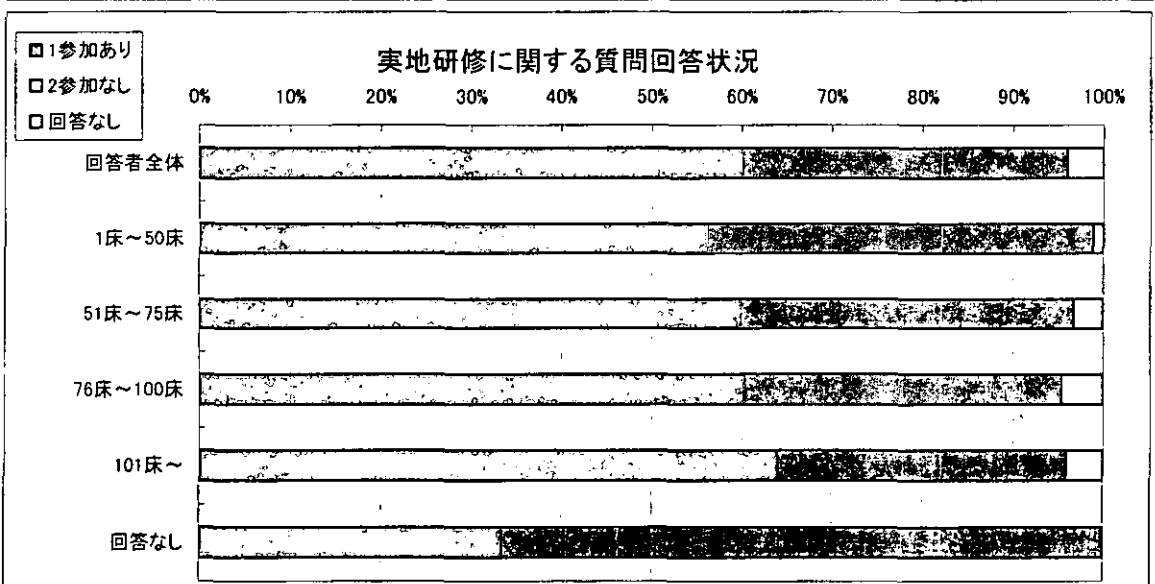
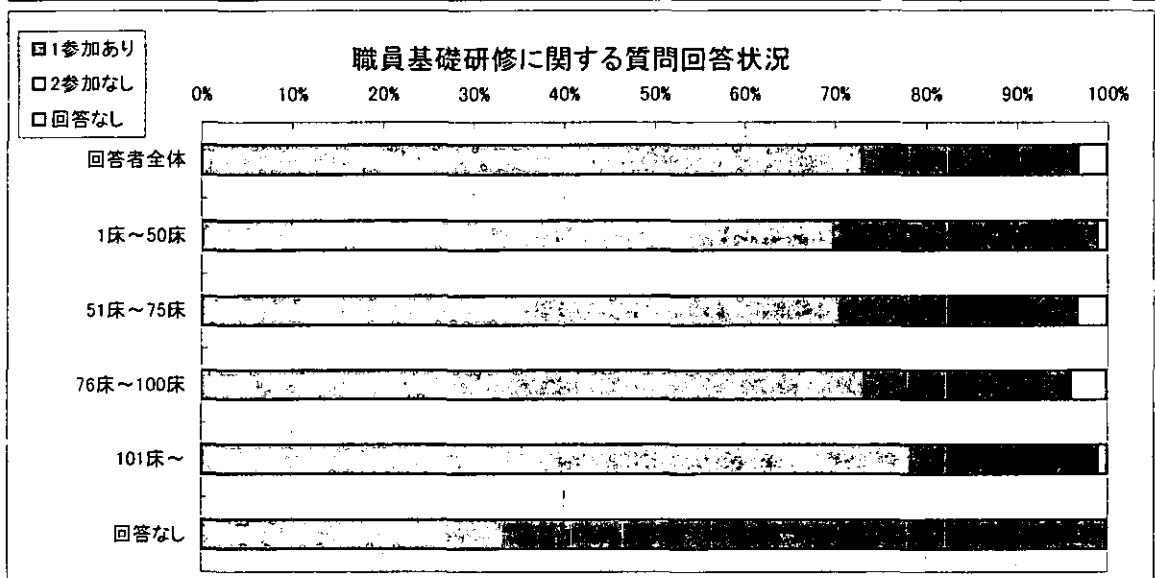
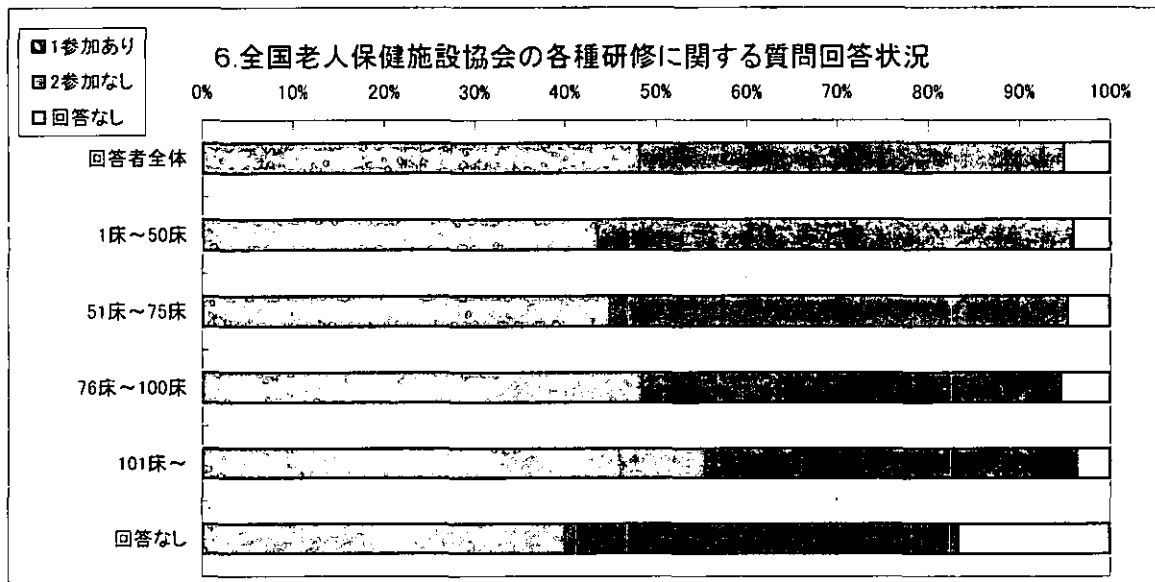
質問区分	入所床	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
7 医師研修	回答者全体	217	673	58	948
	1床～50床	20	68	8	96
	51床～75床	20	96	6	122
	76床～100床	154	438	38	630
	101床～	22	70	5	97
	回答なし	1	1	1	3

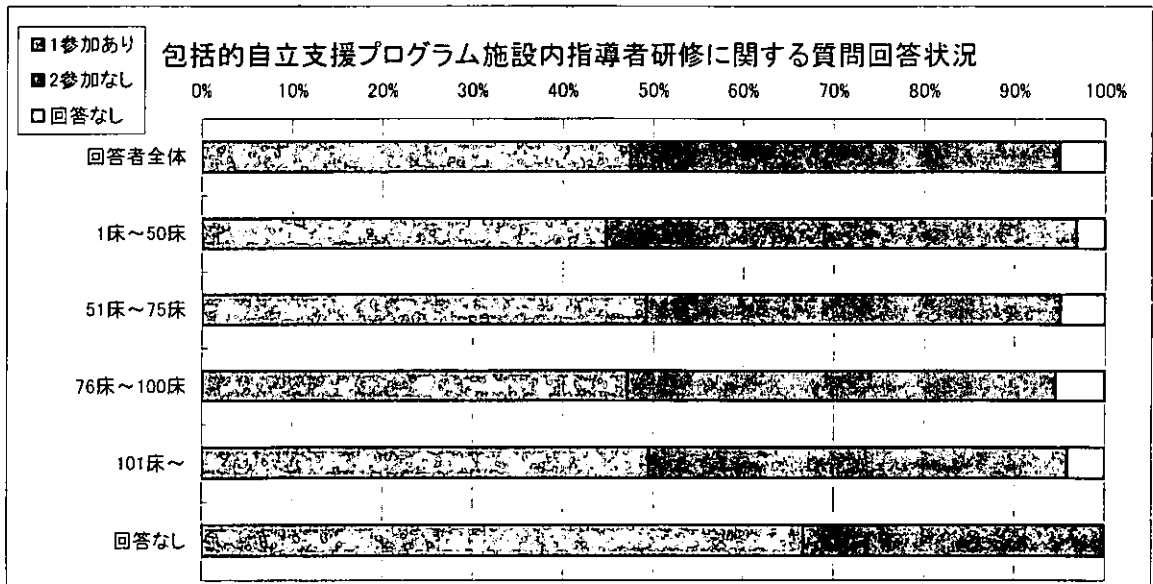
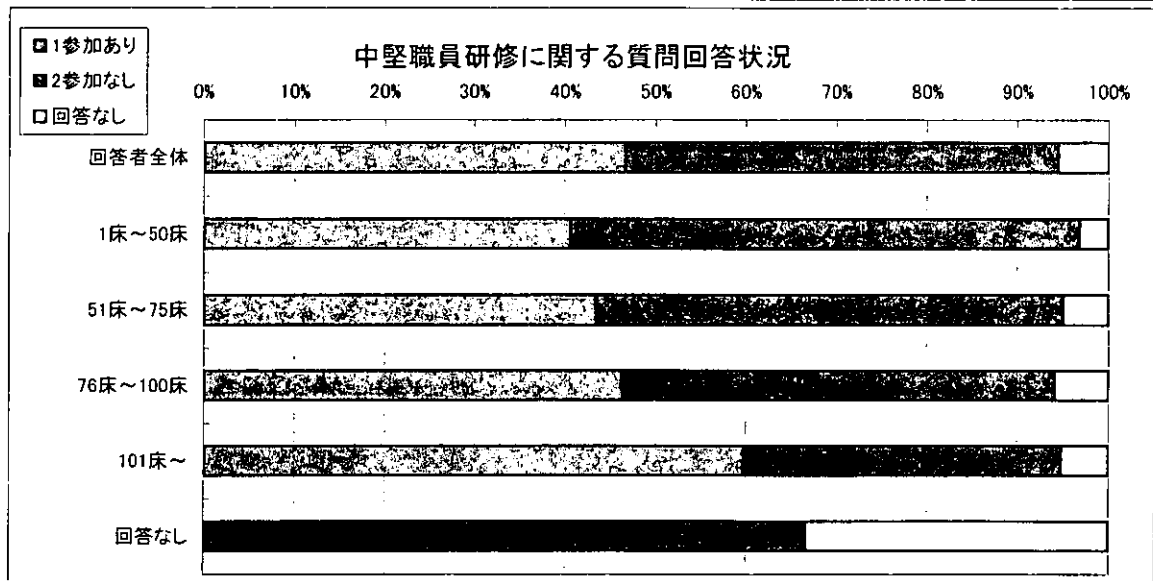
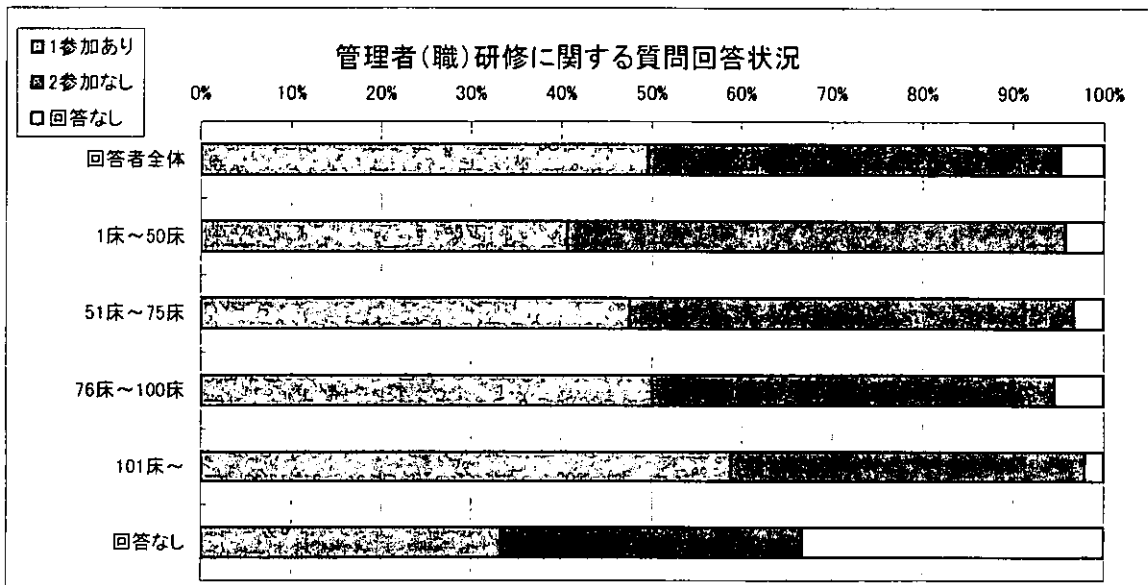
質問区分	入所床	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
8 摂食・嚥下セミナー	回答者全体	487	412	49	948
	1床～50床	46	45	5	96
	51床～75床	52	64	6	122
	76床～100床	327	269	34	630
	101床～	60	34	3	97
	回答なし	2	0	1	3

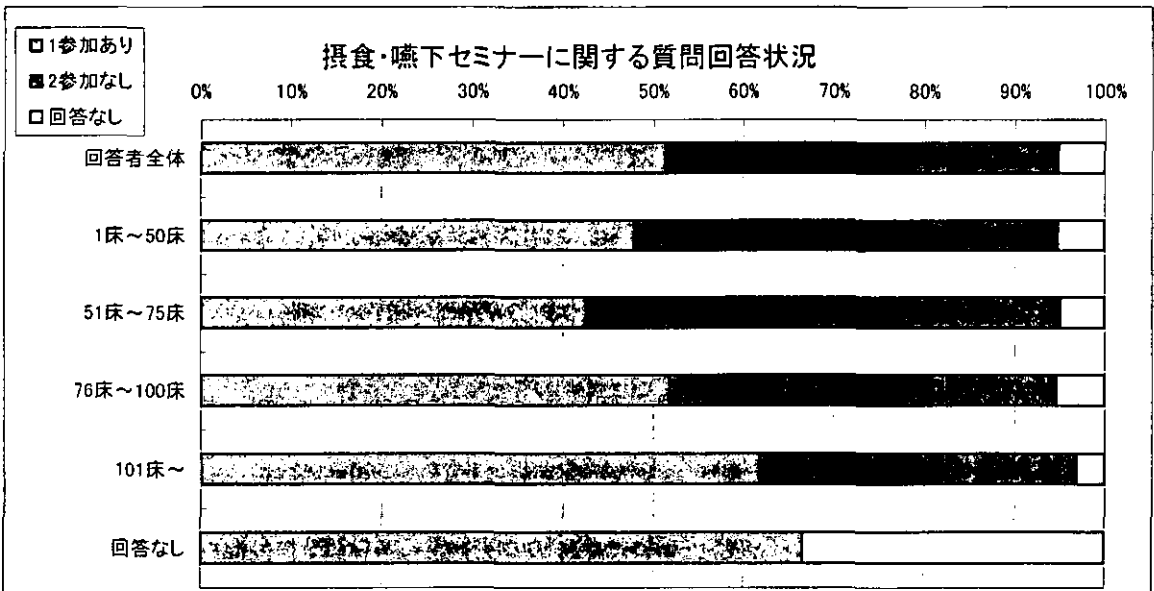
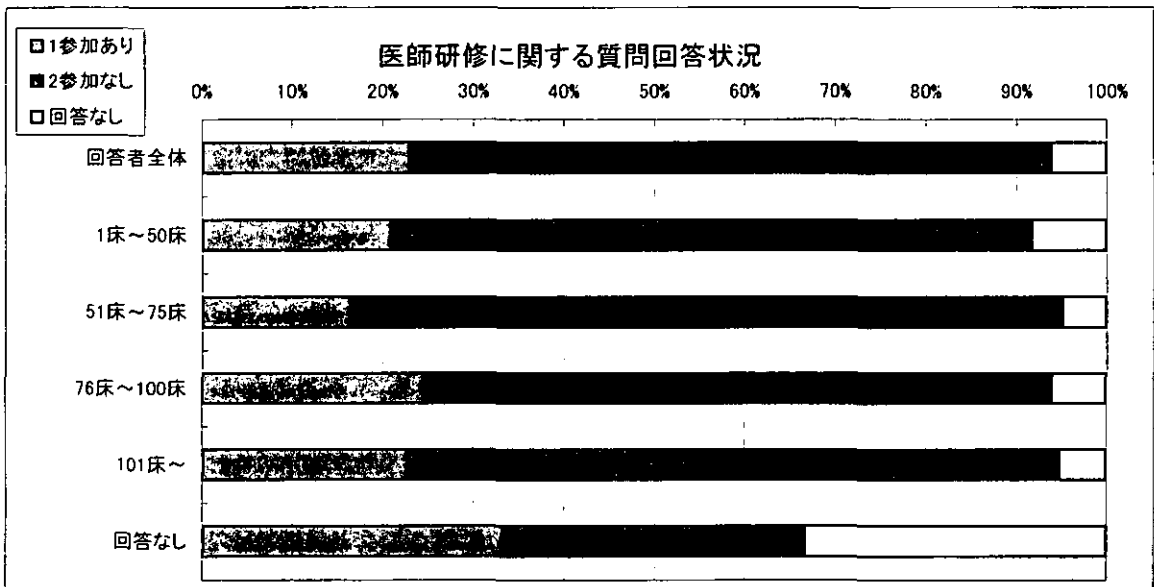
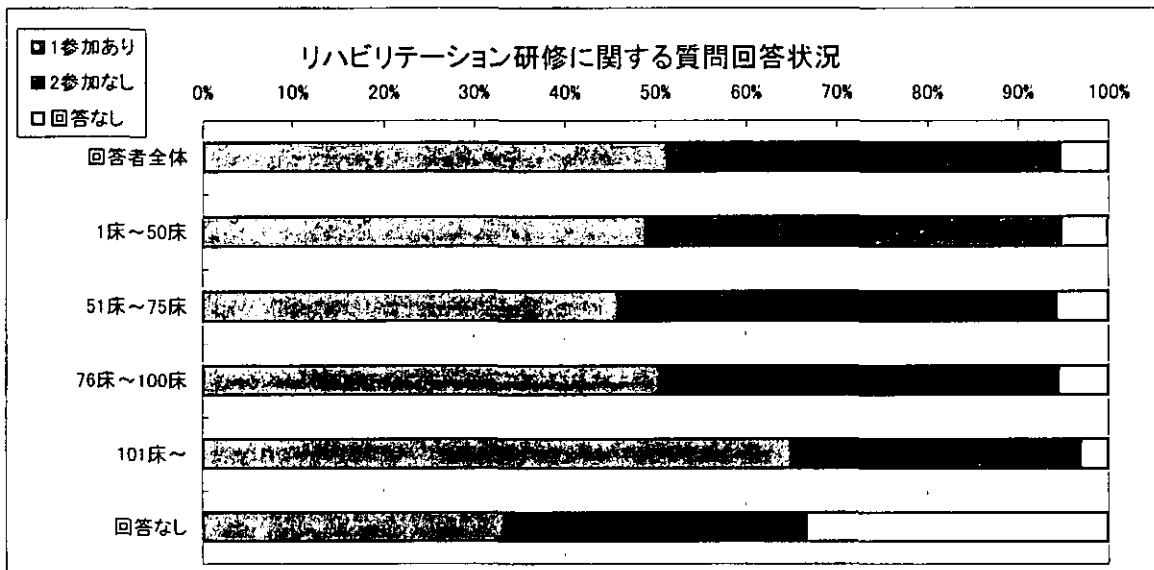
質問区分	入所床	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
9 痴呆性高齢者ケア 研修	回答者全体	521	378	49	948
	1床～50床	45	48	3	96
	51床～75床	62	53	7	122
	76床～100床	348	247	35	630
	101床～	64	29	4	97
	回答なし	2	1	0	3

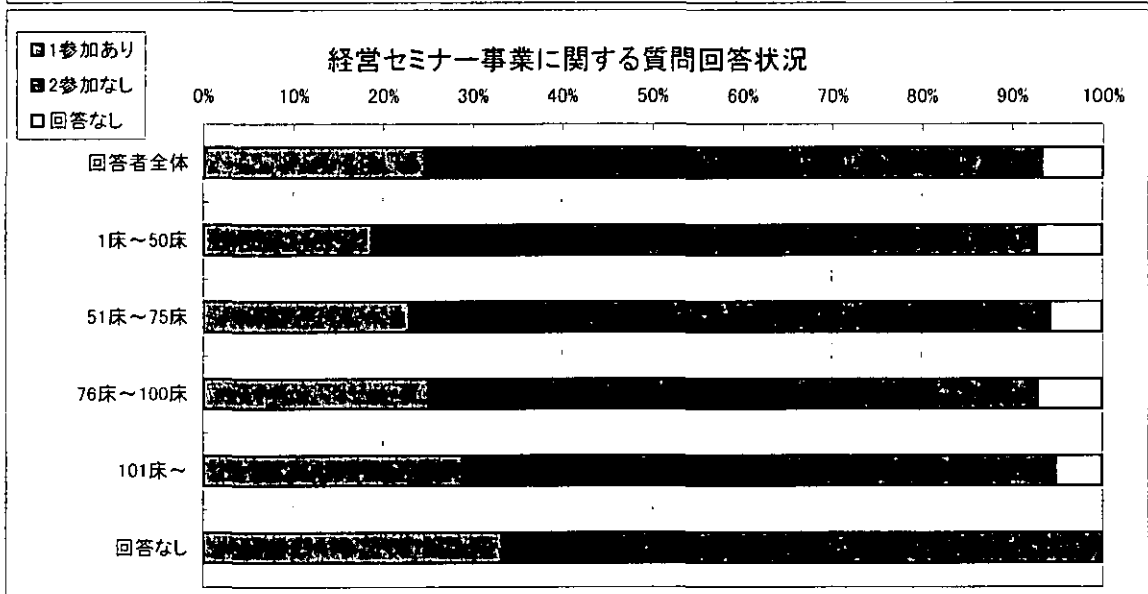
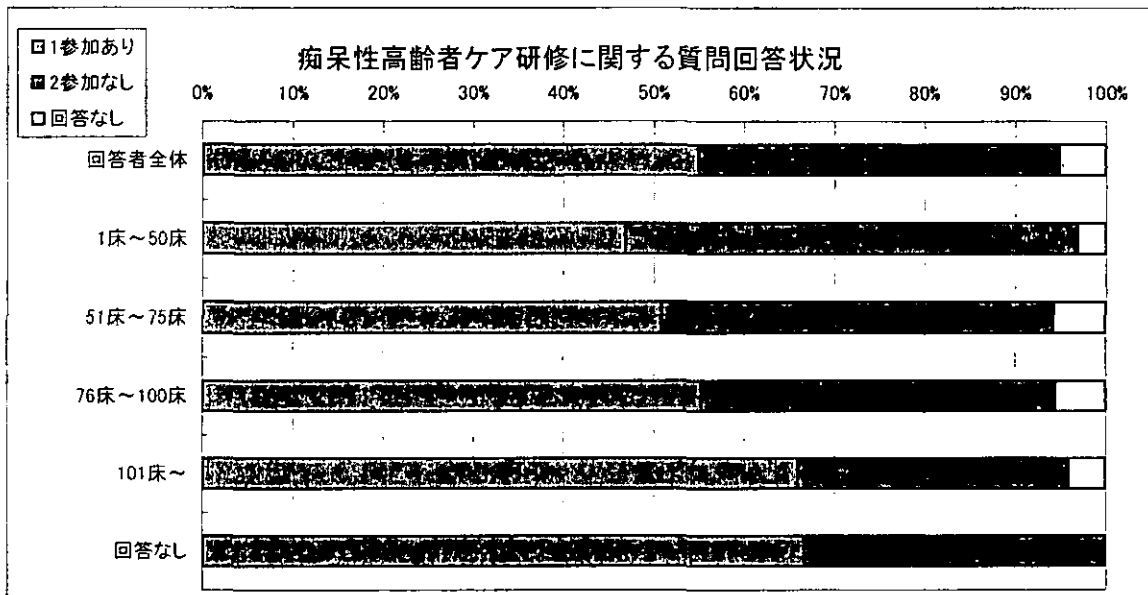
質問区分	入所床	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
10 経営セミナー事業	回答者全体	233	651	64	948
	1床～50床	18	71	7	96
	51床～75床	28	87	7	122
	76床～100床	158	427	45	630
	101床～	28	64	5	97
	回答なし	1	2	0	3

## ②入所床別 回答状況の分析









3)①ISO認証取得状況別 回答件数(設問6 各種研修に関する質問)

	ISO9001認証取得	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
	全体	回答者全体	4,568	4,428	484
	1取得済み	198	138	14	350
	2未取得	4,005	3,936	369	8,310
	3申請中	55	84	1	140
	回答なし	310	270	100	680

質問区分	ISO9001認証取得	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
1 職員基礎研修	回答者全体	692	225	31	948
	1取得済み	30	5	0	35
	2未取得	609	198	24	831
	3申請中	11	3	0	14
	回答なし	42	19	7	68

質問区分	ISO9001認証取得	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
2 実地研修	回答者全体	570	340	38	948
	1取得済み	22	12	1	35
	2未取得	502	300	29	831
	3申請中	6	8	0	14
	回答なし	40	20	8	68

質問区分	ISO9001認証取得	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
3 管理者(職)研修	回答者全体	470	433	45	948
	1取得済み	21	13	1	35
	2未取得	410	385	36	831
	3申請中	5	9	0	14
	回答なし	34	26	8	68

質問区分	ISO9001認証取得	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
4 中堅職員研修	回答者全体	442	454	52	948
	1取得済み	21	12	2	35
	2未取得	394	396	41	831
	3申請中	2	12	0	14
	回答なし	25	34	9	68

質問区分	ISO9001認証取得	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
5 包括的自立支援プログラム施設内指導者研修	回答者全体	450	451	47	948
	1取得済み	17	17	1	35
	2未取得	393	402	36	831
	3申請中	5	9	0	14
	回答なし	35	23	10	68

質問区分	ISO9001認証取得	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
6 リハビリテーション研修	回答者全体	486	411	51	948
	1取得済み	21	12	2	35
	2未取得	429	365	37	831
	3申請中	5	8	1	14
	回答なし	31	26	11	68



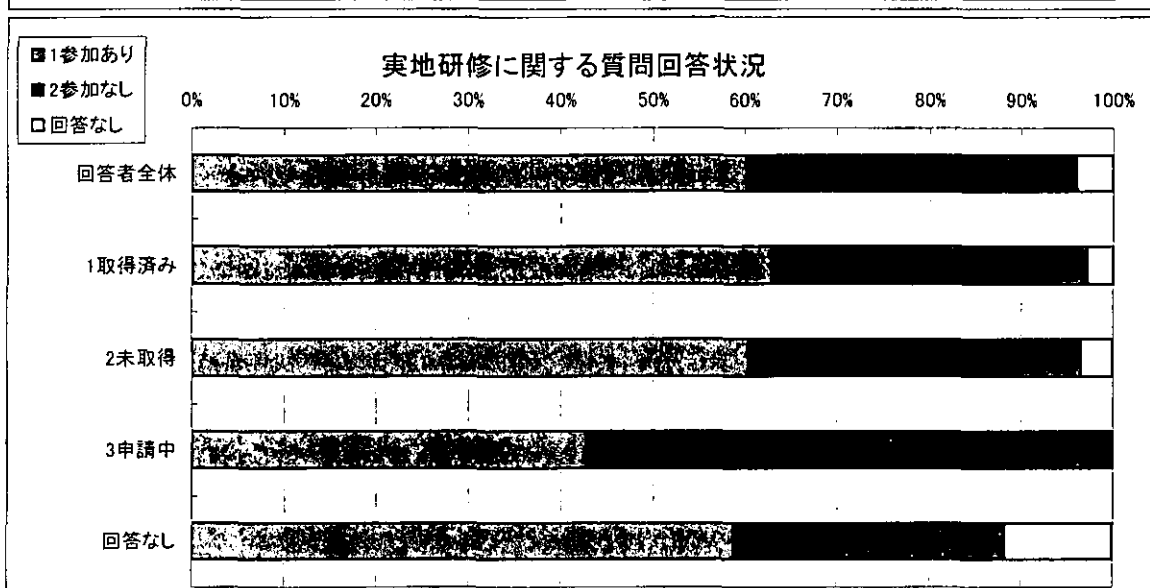
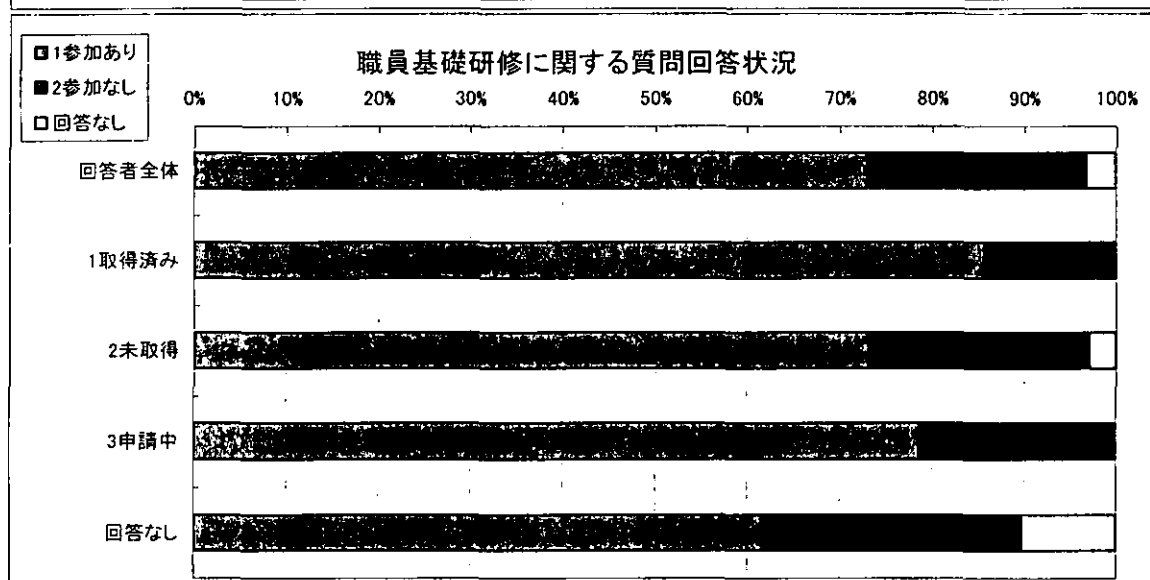
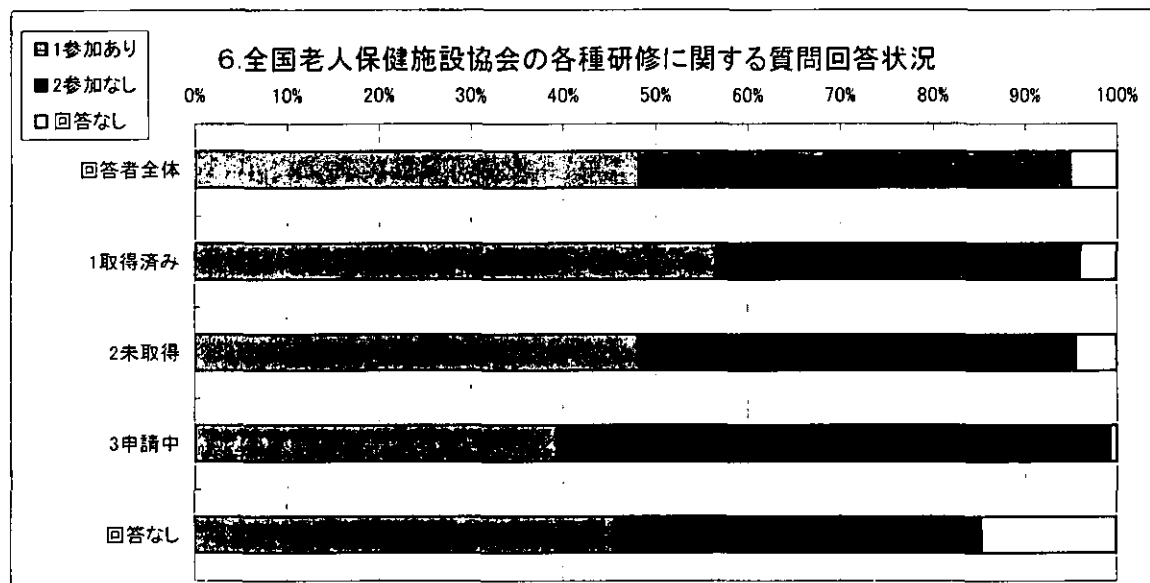
質問区分	ISO9001認証取得	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
7 医師研修	回答者全体	217	673	58	948
	1取得済み	9	24	2	35
	2未取得	184	605	42	831
	3申請中	5	9	0	14
	回答なし	19	35	14	68

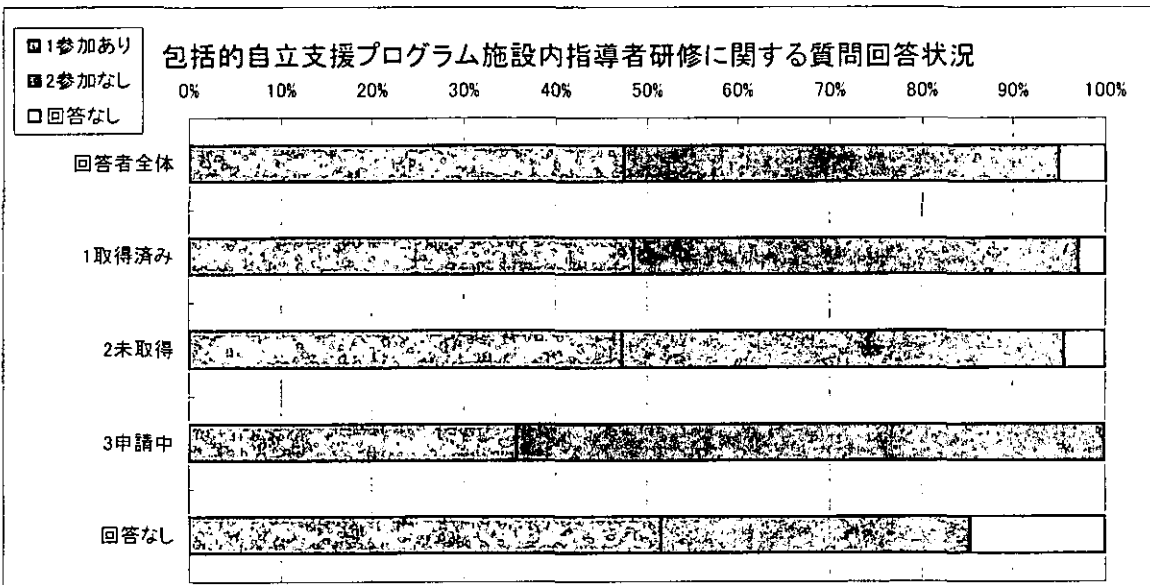
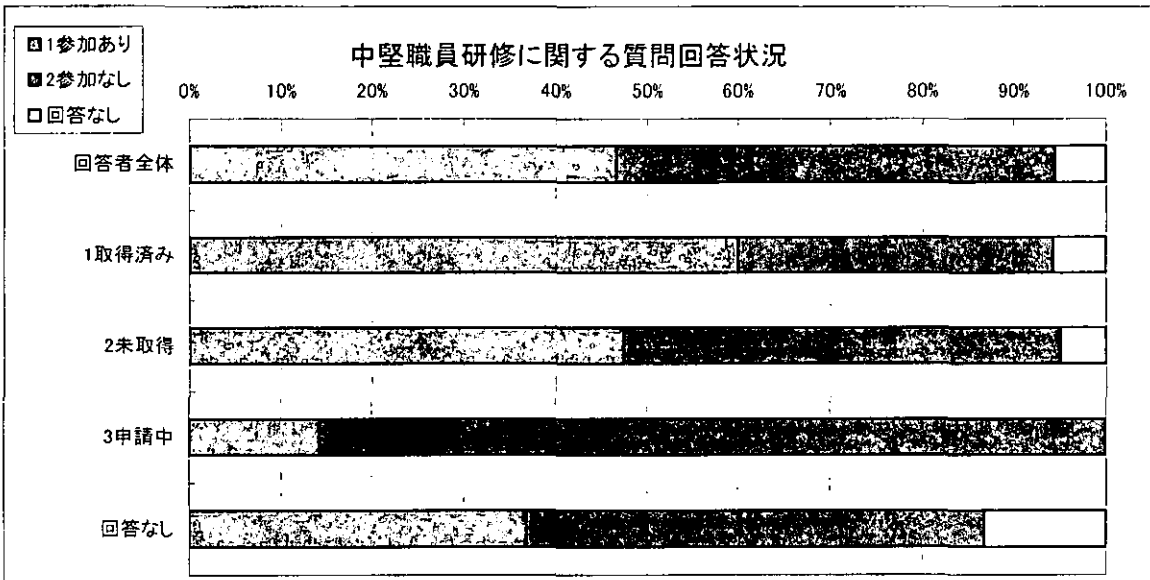
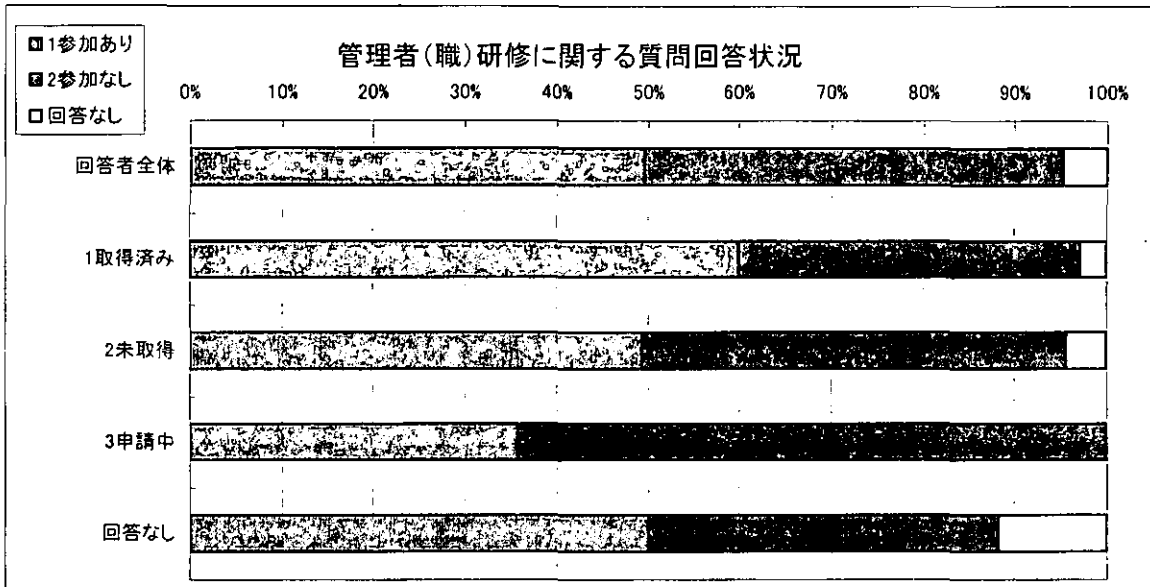
質問区分	ISO9001認証取得	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
8 摂食・嚥下セミナー	回答者全体	487	412	49	948
	1取得済み	22	11	2	35
	2未取得	426	367	38	831
	3申請中	9	5	0	14
	回答なし	30	29	9	68

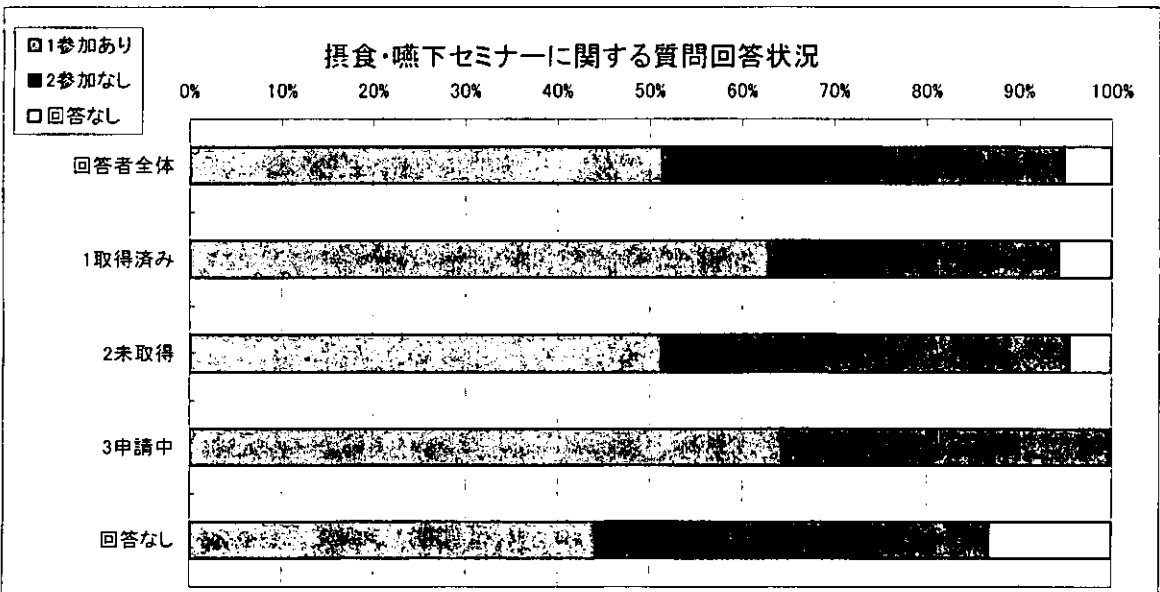
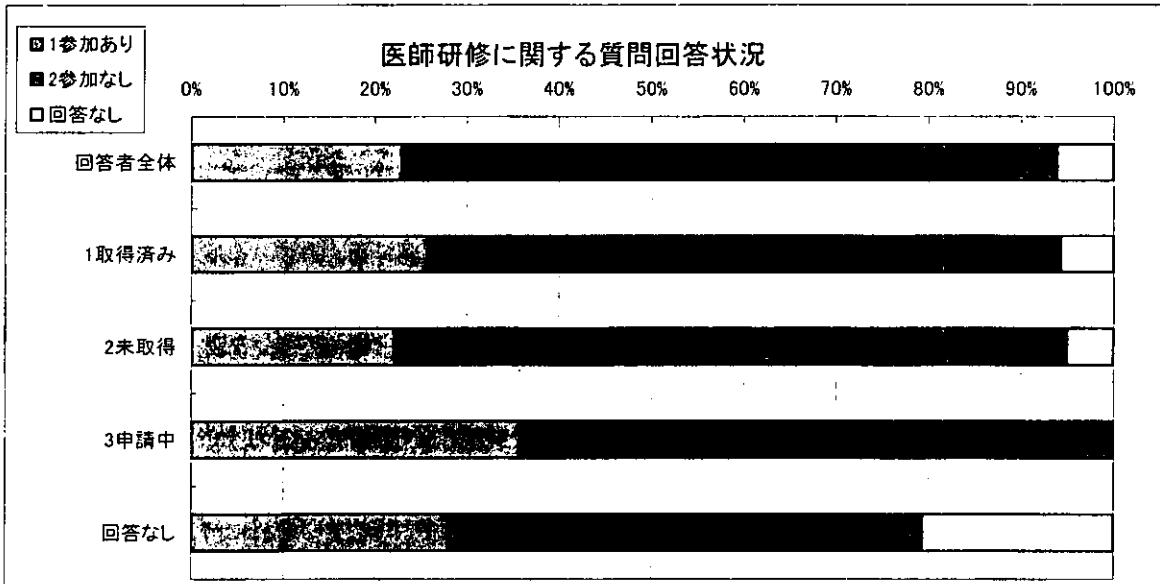
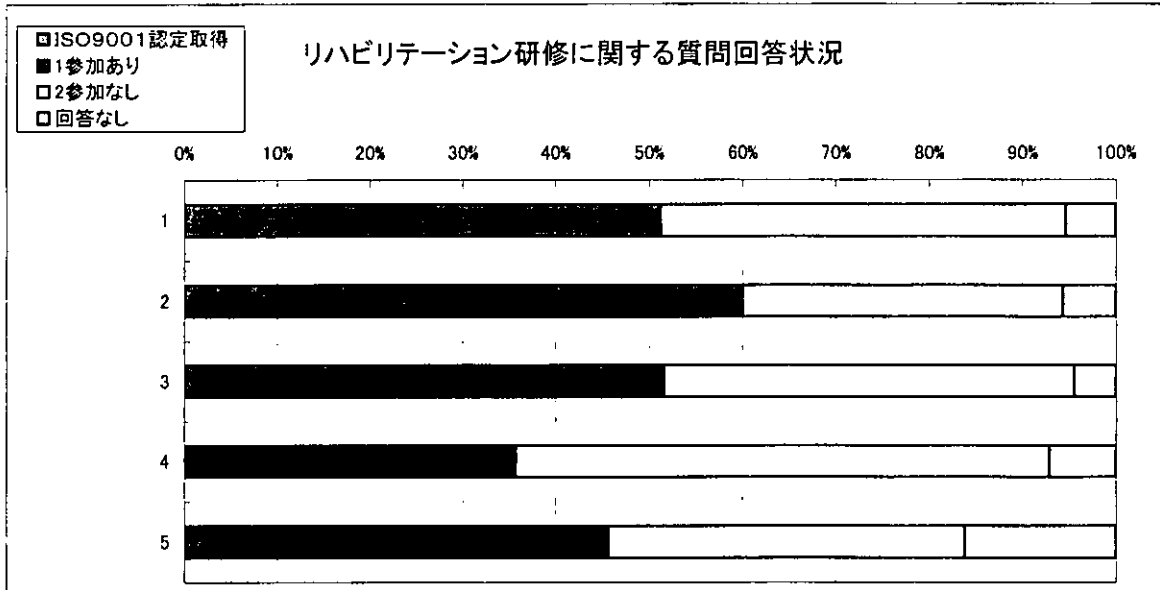
質問区分	ISO9001認証取得	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
9 痴呆性高齢者ケア研修	回答者全体	521	378	49	948
	1取得済み	24	9	2	35
	2未取得	457	338	36	831
	3申請中	5	9	0	14
	回答なし	35	22	11	68

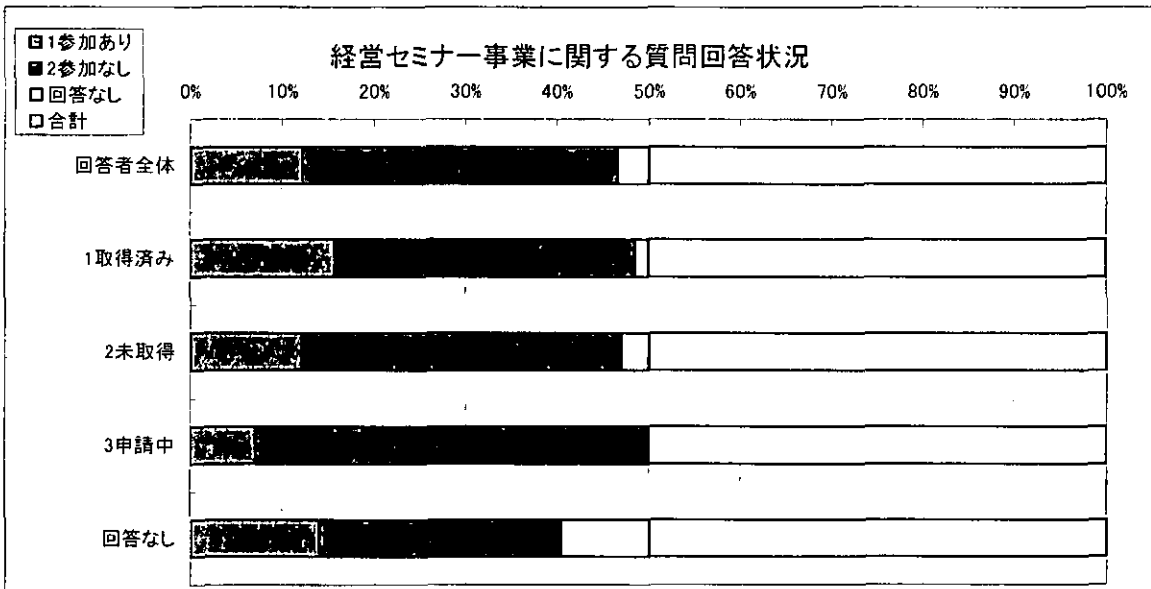
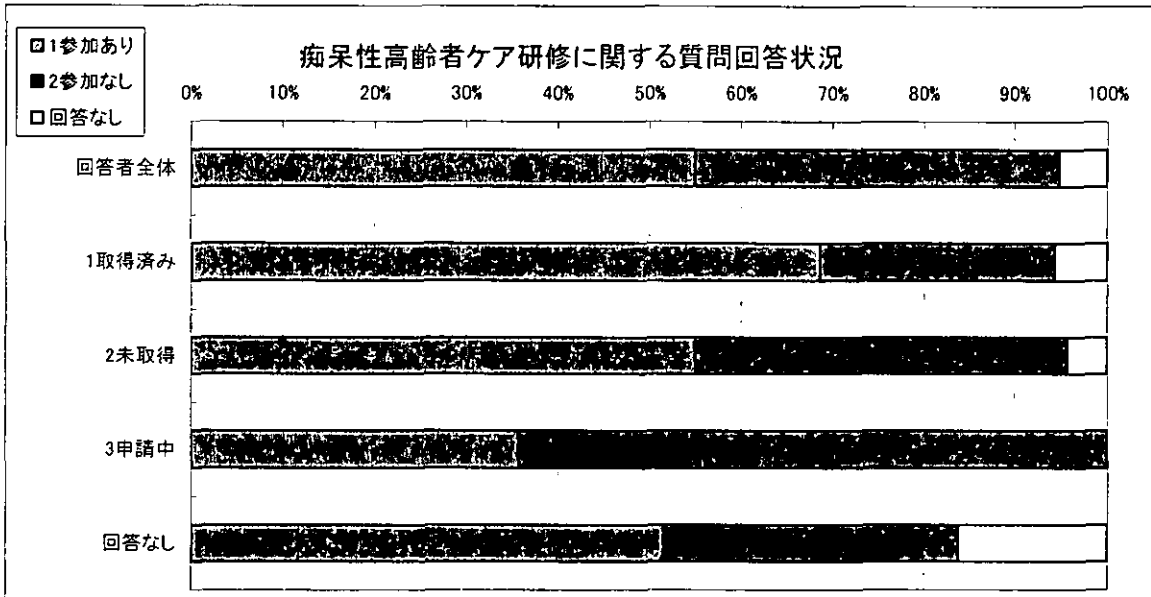
質問区分	ISO9001認証取得	1参加あり	2参加なし	回答なし	合計
10 経営セミナー事業	回答者全体	233	651	64	948
	1取得済み	11	23	1	35
	2未取得	201	580	50	831
	3申請中	2	12	0	14
	回答なし	19	36	13	68

## ②ISO認証取得状況別 回答状況の分析









## 介護老人保健施設のマネジメントに関する研究

【具体・自由記述（フリーアンサー）項目における回答内容】

## 介護老人保健施設のマネジメントに関する研究 ——具体・自由記述（フリーアンサー）項目における回答内容——

各アンケート調査結果（フリーアンサー）は別紙のとおりであるが、これらの内容から主要な意見、回答を整理すると下記のとおりである。

### 1. 組織の質改善のための組織的な取り組みの具体的記述

#### 1) 会議体の制度化と活用

運営会議、責任者会議、担当者会議、テーマ毎会議等を定期的に実施し、方針・目標の周知・徹底、課題と対策の検討、指導助言、内部コミュニケーションの向上、意識改革を図っている。これはほとんどの組織に見られる。

#### 2) 各種研修の実施

内外の各種研修会、発表会により、スキル、マナー、意識等力量アップを図っている。ほとんどの組織で、程度の差はあるが、研修の実施が掲げられる。

#### 3) 責任の明確化

組織、役割を明らかにし、命令系統、職務内容を周知するとともに、力量が発揮できるような人事制度、評価制度を取り入れている組織も多い。

#### 4) マネジメントのシステム化と外部評価の受入れ

ISO システム、第三者評価システムを導入し、又は導入しようとしている。外部の専門家、コンサルタントによる仕組の評価、改善支援を受入れている組織もいくつかある。

#### 5) 目標設定と達成度管理

部門毎、個人毎に年度目標・重点目標を設定させ、定期的に達成度を評価、発表させる等のルール化を計画、実施している組織も散見される。

### 2. 介護の質改善のための組織的な取り組みの具体的記述

#### 1) 各種研修の実施

内外の研修会、発表会に参加することにより、質向上に向けた職員の力量、専門能力および知識の向上を目指している。ほとんどの組織でこれを掲げている。

#### 2) 会議体の活用

組織内の定例、非定例の会議体を通じて、ヒヤリハットや起きた事例、各種外部情報、アンケート結果等についてコミュニケーションを行い、課題、対策、予防処置の認識と注意喚起を実施している。テーマ毎に専門委員会方式で検討、対策立案、実行指導している組織もある。

#### 3) マニュアル整備等サービス内容の標準化

質の向上、統一化を図るため、又、初級者教育を兼ねて、外部基準を参考にサービス内容の標準化マニュアルを整備する組織もある。ISO 規格、第三者評価システム等に基づいて実施しようとする組織もある。

#### 4) 顧客情報の把握と活用

利用者アンケート、苦情報告、投書等、顧客満足度情報を把握・分析してサービス改善を図ろうとする組織もある。

### 3. 全国老人保健施設協会への研修についての意見

研修会の企画内容（開催地区、日程、時間、テーマ、方法、費用）に関し、次のような意見が多い。

- 1) 現場はマンパワーが不足なので、研修会への出席率を向上させられないという問題を抱えている。
- 2) 開催場所の遠距離化、高級ホテル志向の廃止する。交通費も含め、参加費が高いため、県内開催、地方開催の推進や短期間・短時間で密度の濃い、地道な勉強会のようなものが必要である。
- 3) 研修内容は有意義なものが多く、計画性があるが、もっと一般的（総花的）ではなく、実践的なものが必要である。
- 4) 研修内容の密度が濃いため、事前に資料配付するとか。定員を少なくグループ化し、小規模実地研修を行うなどの工夫が必要である。また、質疑応答時間を多くとることが望まれる。
- 5) 参加しなくても、資料だけでもほしい。また、放送による研修も考えられる。
- 6) 研修参加に対する出席証明書の発行や、研修参加が施設評価につながるしくみが望まれる。
- 7) 研修対象資格者の制限に柔軟性を持たせることが必要である。
- 8) 今後の研修テーマとしては次のものが望まれる。
  - ・ケアプラン研修
  - ・スーパービジョンについての研修
  - ・現状と今後の課題
  - ・人的尊重等倫理的な研修
  - ・介護施設における接遇に対する研修
  - ・看護・介護記録のあり方、介護研究の実際の研修
  - ・痴呆、生活の中のリハビリ機能の強化や相談支援機能のレベルアップの為の研修
  - ・実習生指導者研修
  - ・リスクマネジメント研修
  - ・第三者評価研修
  - ・管理者研修（リーダーシップ、部下指導、適正利益追求、働きやすい環境づくり）
  - ・利用者家族との信頼関係の構築手法に関する研修
  - ・経営維持、介護保険給付減額対策等の研修
  - ・栄養士、管理栄養士研修
  - ・問題となっているテーマでディスカッション等ができる研修
  - ・介護を学問レベルに引き上げる視点での研修会



#### 4. 国や都道府県などの行政に対する意見

施設運営、介護保険等に関し、次のような意見、要望が多い。

- ・老健施設の今後の方向性を具体的に提示
- ・老健の役割、あるべき姿の国民への説明、アピール
- ・アンケート内容の簡素化、アンケート内容の現場向け対応
- ・安定経営、人員確保、施設充実のための介護報酬基準の見直し（財政面での公の支援、介護給付費の単位数のUP、必要人員と報酬の関係見直し等）
- ・人材不足、確保に対する行政施策の必要性
- ・医療度が高い人が増加に対する医療保険の利用
- ・在宅復帰の理念のための制度の充実、施設整備。
- ・老健施設のリハビリ機能の充実の必要性と公の支援
- ・その他の日常生活費の明確化
- ・プライドをもてる職場であるための行政的配慮の必要性、公的助成。
- ・介護老人保健施設における税制度の見直し
- ・介護老人福祉施設（特養）への入所の増加対策（老健へのシワヨセ対策）
- ・サービス事業所の定員割れに対する必要な施設数の把握と対策の立案
- ・記録物の内容、記録物の多さの問題に対するシステムの見直し。
- ・老健施設の特養化、病院化の進行の防止対策。
- ・介護保険の解釈の全国統一化、介護保険の事務処理の簡素化
- ・アンケート調査に至った研究経緯の説明
- ・保健所の実地指導内容の見直し

# 介護老人保健施設のマネジメントに関する研究

【調査票】

厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業  
介護老人保健施設のマネジメントに関する研究 調査票

この度は、本調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。

本調査は、介護保険制度の見直し論議や第三者評価の検討が進められている現状において、老人保健施設の組織全体にわたる質向上をはかるためのマネジメント並びにそれを高めるための研修の現状を調査するものです。お手数ですが、施設の管理者の方にご回答をお願い申し上げます。

調査票では、個別状況等をお尋ねしていますが、ご回答内容について個人のプライバシーと老人保健施設の情報は無記名であり、流出することは一切ございませんので、忌憚のないご意見を賜ればと存じます。ご多用中大変恐縮ですが、ご記入に関しまして、20分前後のお時間をいただくことになりますがよろしくお願い申し上げます。

本調査についてのお問い合わせは、国立保健医療科学院 経営科学部 小山秀夫 [hideo@niph.go.jp](mailto:hideo@niph.go.jp)、FAX048-468-7985 まで、メールまたはファックスにてご連絡下さい。

また重ねてのお願いで恐縮とは存じますが、本調査票は 3月10日(水)までに同封の返信用封筒にてご返送賜りたくお願い申し上げます。

1 フェースシート(あてはまる番号に○印をご記入下さい)

回答者役職	1 施設長 2 副施設長 3 事務部長 4 看護・介護部長 5 副看護・介護部長 6 その他( )			
回答者資格	1 医師 2 看護師 3 その他( )			
回答者年齢	1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代 5 60歳代 6 70歳代以上			
回答者性別	1 男性 2 女性			
所属老人保健施設について	開設年次	昭和 平成 ( )年		
	所在地	( ) 県・都・道・府		
	老人保健施設開設者	1 医療法人 2 社会福祉法人 3 公立(都道府県、市町村等) 4 公的(日赤、済生会、厚生連、北社事) 5 その他( )		
	定員数	入 所	( )床	うち 個室 ( )床
		短期療養入所	( )床	うち 個室 ( )床
		通所リハビリテーション定員	( )人	
	入所者の直近の平均要介護度	( )		
ISO9000シリーズの認定取得について	1 取得済み 2 未取得 3 申請中			
介護報酬	直近の介護報酬請求時に使用した項目番号4桁を、わかる範囲でご記入ください。 なお、3桁目は1から5の数字が入るものです。			
	52-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	52-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	52-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	52-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

2 老人保健施設のプロフィールに関する質問のそれぞれについて、貴施設のことをお尋ねする設問です。  
 あてはまるもの一つに○印をご記入下さい。

1 組織環境について	1 簡単に答えられる	2 なんとか答えられる	3 答えるのが難しい	4 質問の意味がわからない
① 貴組織の主な介護サービスはどのようなものか。	1	2	3	4
② 利用者および家族に介護を提供する際のメカニズム(提供の仕組み)はどのようなものか。	1	2	3	4
③ 貴組織の文化はどのようなものか。	1	2	3	4
④ 貴組織の目的、ビジョン、ミッション、存在価値は何か。	1	2	3	4
⑤ スタッフの教育レベルはどの程度か。	1	2	3	4
⑥ スタッフの労働力と職種の種類、労働組合、労働契約、健康や安全に関する特定の要件にはどのようなものがあるか。	1	2	3	4
⑦ 貴組織の主な技術、機器、設備にはどのようなものがあるか。	1	2	3	4
⑧ 貴組織の運営根拠となる法や指針にはどのようなものがあるか。	1	2	3	4
⑨ 安全指針、許認可、設備規定、財務規定には、どのようなものがあるか。	1	2	3	4
2 提供活動の実状について	1 簡単に答えられる	2 なんとか答えられる	3 答えるのが難しい	4 質問の意味がわからない
① 貴組織の組織図や統治(ガバナンス)システムにはどのようなものがあるか。	1	2	3	4
② 理事会、経営幹部、本部組織との連絡系統はどのようになっているか。	1	2	3	4
③ 貴組織が対象としている主な利用者・顧客はどのようなものか。	1	2	3	4
④ 利用者・顧客が期待していること、要求しているものはどのようなものか。	1	2	3	4
⑤ 利用者グループ、顧客グループにより要求や期待に違いはあるか。	1	2	3	4
⑥ 主要な業務プロセスにおいて、パートナー(協力)機関が担う役割はどのようなことか。	1	2	3	4
⑦ 最も重要と思われるパートナー(協力)機関にはどのようなものがあるか。	1	2	3	4
⑧ すべての供給業者との関係で重要とされる要件はどのようなものか。	1	2	3	4
⑨ 主要なパートナー(協力)機関との関係や、コミュニケーションの仕組みはどのようなものがあるか。	1	2	3	4
3 競争的環境について	1 簡単に答えられる	2 なんとか答えられる	3 答えるのが難しい	4 質問の意味がわからない
① 競争環境の中での貴組織の位置づけはどのようになっているか。	1	2	3	4
② サービスの相対的な規模や成長はどのようになっているか。	1	2	3	4